
普通の日常（？）

KiMI

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

普通の日常(?)

【Nコード】

N1655BA

【作者名】

K i M I

【あらすじ】

え？別に普通だろ？このぐらい・・・

え？常識？基準が分からん

普通の日常(?) (前書き)

なんとなく書きました

書くことは実際にしたことがあることや

してみたかったことなどです

途中で飽きるかもしれないですが飽きっぱいのでそしたらすいませんね

普通の日常(?)

「やっと受験終わったな〜」

誰に言ったわけでもないのだが眩きたくなる時もあるもんだろ？と誰かに説明するように心の中だけで独り言を呟く

「あいつにも教えてやるか」

また一人で眩きながら携帯音楽プレイヤーを片手で操作しながらテレビ通話のためにあいつの名前を探していく

「あつたあつた」

そう言いながらあいつの名前をタッチする

しばらくあいてあいつがでた

「よーどうした」

気の抜けたような声で俺に向かって話しかけてくる

「ハッハッハッハー驚け驚け!!」

そう言いながらテンションが上がりすぎて終了をタッチしてしまった

普通の日常(?) (後書き)

短く長く書きたいと思います

飽きなければの話ですが・・・

中学の日常(？) (前書き)

いやーさすがに短すぎたね

投稿したのみで驚いたよ

授業中の手紙ぐらいしかなかった

中学の日常(?)

「あーミスったな」

一人で微笑しながらまたあいつの名前をタッチした

「ごめんごめんミスったぜ」

適当に謝りながら話を無視した

「で？なんだって？」

めんどくさそうに画面を見ないできいてきた

「俺受験受かったから」

自分のテンションの上がり方に恥ずかしくなり適当に言ってみた

「ななななな、なにいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい」

イヤホンをしていた耳が痛くなるほど大きな声で騒がれた

「まーお先？」

軽く笑いながらこれで自由だとか言いながら言ってからかってみた

これが普段の(家での)生活だ

常に会話しながらの生活である

こんな感じで今日も過ぎていくのであった

中学の日常(？)(後書き)

これは実話ですな

はっはっはー

一部違っけど

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1655ba/>

普通の日常（？）

2012年1月4日04時45分発行